

自己点検・評価シート

整理No.	1-(1)-①	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	放課後児童対策事業	所属名 教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む
	施策	1101	子育て応援の充実

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	(1) 放課後児童クラブ 小学校 児童・保護者 (2) 放課後児童クラブ警備 放課後児童クラブの専用施設 (3) 放課後子ども教室 小学校 児童・保護者
意図 (どのような状態にするために)	(1) 昼間保護者が就労のため家にいない小学校児童を授業の終了後預かり、適切な遊び及び生活の場を与えることで児童の健全育成を図る。 (2) 施設での非常事態発生時に、迅速かつ的確に通報可能なシステムを維持し、児童の安全確保と被害の拡大防止を図る。 (3) 小学校区において放課後や週末等に、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動・体験活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境作りを推進する。
手段 (どうするのか)	(1) 小学校児童を学校の余裕教室や専用施設等で預かり、遊びや集団生活の場を提供する。 (2) 緊急通報システムの機械警備業務を専門業者に委託する。 (3) 小学校の空き教室や小学校近隣の公共施設等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の様々な資質を有する多くの大人の参画を得て子ども教室を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	(1) 放課後児童クラブの設置・運営、保護者会等に運営委託 (2) 施設警備委託 (3) 放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小、気高地域)	(1) 放課後児童クラブの設置・運営、保護者会等に運営委託 (2) 施設警備委託 (3) 放課後子ども教室の設置	(1) 放課後児童クラブの設置・運営、保護者会等に運営委託 (2) 施設警備委託 (3) 放課後子ども教室の設置	(1) 放課後児童クラブの設置・運営、保護者会等に運営委託 (2) 施設警備委託 (3) 放課後子ども教室の設置		
	年度別実績	(1) 放課後児童クラブ43クラブを開設、保護者会等に委託実施 (2) 施設警備委託 (3) 放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小)	(1) 放課後児童クラブ45クラブを開設、保護者会等に委託実施 (2) 施設警備委託 (3) 放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小)	(1) 放課後児童クラブ45クラブを開設、保護者会等に委託実施 (2) 施設警備委託 (3) 放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	283,733	239,552	258,701	276,868		
	直接経費 A	268,364	224,329	243,767	276,868		
	直接経費の財源内訳	国・県	143,171	123,704	133,466	157,257	
		地方債	28,200	0	2,300	16,700	
		その他					
一般財源	96,993	100,625	108,001	102,911			
人件費 B	15,369	15,223	14,934				
職員数の内訳	正規職員	2.05	2.05	2.05			
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00			
	臨時職員	0.00	0.00	0.00			

4. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	1 事業の概要	(1) 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年児童の育成・指導に資するため、放課後児童クラブの運営を行う。 (2) 緊急通報システムの機械警備業務を警備会社に委託する。 (3) 放課後や週末等における地域の子どもの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保する。地域の様々な資質を有する多くの大人の参画を得て、子どもたちに、様々な体験・交流・学習活動の機会を提供する。事業の円滑な実施や、より充実した魅力のある事業にするため、放課後子ども教室運営委員会を開催する。
	2 事業の成果	(1) 45クラブの運営 利用者数1,749人 城北小学校 砂山児童クラブ分割開設 (2) 対象施設(16施設:世紀、湖山西、美保、若葉台、末恒、城北、浜村、中ノ郷、遷番、美保第二、美保南、日進、浜坂、醇風、津ノ井、宝木) (3) 東郷小・明治小・神戸小に開設

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	放課後児童クラブ設置数	箇所	目標	42	44	45	46	
				実績	43	45	45		
	(指標の説明)								
	2	放課後子ども教室設置数	箇所	目標	4	4	3	3	
実績				3	3	3			
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	放課後児童クラブ設置数	箇所	102%	102%	100%		
	2	放課後子ども教室設置数	箇所	75%	75%	100%		

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	(1) 対象と意図は明確であり、目的は適切であった。 (2) 適切な目的である。 (3) 放課後児童クラブを開設するのが難しい小規模校区を対象としており、一定の支援が必要。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	(1) 放課後児童対策として有効な事業である。 (2) 非常事態は発生していないが、必要な事業である。 (3) おおむね好評である。特に保護者のニーズは高いものがある。
資源投入の効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	(1) 保護者会運営は地域の実情にあった運営が可能で、かつ市の事務コストを抑えられることから一定の効率性があるが、現行の保護者会への委託のあり方について、引き続き検討する。 (2) 案件により、随意契約か競争入札を行っており、効率的な委託を行っている。 (3) 地域住民の協力のもと事業を行っており、それぞれの地域の事情やニーズにあった柔軟な運営形態を取っている。
サービスの公平性	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	(1) 児童クラブの実情にあったサービスが提供されている。 (2) 適切である。 (3) 放課後児童クラブの創設が難しい地域に開設しており、対象は適切と考える。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	(1) 共働きや一人親家庭の増加により、放課後児童クラブのニーズは年々高まっており、この傾向は今後も続くと考えられる。 (2) 施設を安全に管理運営するため、本事業は有効である。 (3) 全小学校区に放課後や週末等における子どもたちの安心・安全な活動拠点を確保するため『放課後児童クラブ』の開設が難しい小学校区には「放課後子ども教室」を開設していく方針である。	
今後の課題・方向性	(1) 大規模化が進行しているクラブの分割等に引き続き取り組む。また、平成27年度から施行予定の子ども・子育て支援新制度により、平成26年度中に放課後児童クラブの基準を条例で定めることとしており、新制度への移行を見据えて取り組んでいく。 (2) 今後も機械警備業務を専門業者に委託していく。 (3) 事業実施地域の評価・ニーズとも高く、今後とも放課後児童クラブの開設が難しい小学校区で実施していく方針である。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	女性が働きやすい社会をつくるためには、女性が働いている間の子どもへのケアが重要である。そういった点から評価できる事業である。また、子どもたちの教育への地域ぐるみの関わりという点からも重要な事業である。放課後児童クラブについては、保護者会に丸投げにならないように、きちんとした指導管理体制が必要である。また、受益者負担の率は現在3割弱であるが、それが適正であるのか十分に検討する必要がある。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	拡大するニーズに対応して受け入れ体制の強化が図られている。活動指標からはどの程度逼迫しているかを見ることはできないが、待機者の問題は生じていない。施設整備についても既存施設を活用し投資規模を抑制するよう転換が図られており、効率化に向けた動きと評価できる。
--------	---